



東日本大震災から10年！

現地踏査と意見交換を行う

今年の3月11日で、東日本大震災の発生から10年が経過しました。私たちは現地踏査と意見交換を行いました。今なお被災地の皆さんの心の傷は癒えないばかりか、被災現場も復興したとは言い難い状況でした。

死者1万5,800名以上、行方不明者2,500名以上という前代未聞の被害と原発事故は、私たちに「想定外」は許されないという事実と教訓を突きつけました。

しかし、10年が経過した今、コロナ禍による社会の変貌と原発の再稼働は、私たちに「想定外」とどう向き合うのかと問いかけています。

政府は南海トラフ巨大地震が、今後30年以内に70%~80%の確率で発生し、死者30万人の犠牲を想定しています。また、その他にも様々な自然災害が発生しています。まさに深刻な事態です。

私たちは「想定外」を許さず、全組合員でボランティア活動を通じて地域と共に鉄道の復興を実現してきた教訓を現在に活かそうではありませんか！



< 意見交換で出された意見 >

- JRの皆さんがボランティアや花のプレゼントを取り組んでくれたおかげで、被災者支援から地域福祉へとつながった。本当に感謝している。
- マニュアルは全く役に立たなかった。しかし、JR東労組が「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を組合員と議論してきたことで組合員は安全な行動が取れた。
- 組合員・OBの安否確認や、物資の支援とボランティアは不思議と苦にならなかった。旅プレ、平和研修、森づくりなど「抵抗とヒューマニズム」の精神が活かされた結果だ。
- 「想定外」は通用しない。仲間の命を守るためにも働きやすい職場が絶対に必要だ。

仲間と共に切り拓いたヒューマニズムの精神を教訓に
「命」をすべての価値基軸にした職場をつくり出そう！